

精神神経科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	当院における若年性認知症患者の調査研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	精神科学講座 講師 深津孝英
研究の対象となる方	2023年4月から同年7月まで、当院精神神経科に通院している若年性認知症患者(MCI due to AD；アルツハイマー病の軽度認知障害を含む)を対象とします。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2023年11月30日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 認知症施策5か年計画(オレンジプラン；2012年)や認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン；2015年)に示された「若年性認知症施策の強化」は、後継施策の認知症施策推進大綱(2019年)に引き継がれ、「共生と予防」が主題として示されています。今回精神神経科通院中の若年性認知症患者について調査を行い、住み慣れた地域で生活を継続していくための課題について検討することを目的とした調査研究を行います。 〔利用方法〕 対象となる患者さんの得られた情報(年齢・性別・生活状況・介護者の有無・MMSE(Mini-Mental-State Examination；簡易認知機能検査)および原因となる認知症疾患名や公的支援(産業医への意見書、介護保険主治医意見書、精神障害者保険福祉手帳、自立支援医療、長久手モデル事業への参加など)について調査を行います。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 なし
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	情報：カルテに記載されている、年齢、性別、生活状況、介護者の有無、簡易認知機能検査、認知症の疾患名、公的な支援等
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年10月31日までに電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 精神科学講座 担当者:(職名)講師 (氏名)深津孝英 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線 22130)